



統括CM:  
**酒井 真理**

- 1985-2012年 セイコーエプソン（インクジェット技術の研究開発）
- 2012-2017年 東京大学大学院 JST/ERATO染色体調和エレクトロニクスPJ研究推進主任、総括補佐（兼任）、主幹研究員
- 2016-2017年 JST/ACCEL-FSプログラムマネージャー
- 2017年9月-11月 山形大学 客員教授（産学連携）
- 2017年12月- 山形大学 産学連携教授、インクジェット開発センター長
- 2018年10月- 山形大学 OI推進本部 統括クリエイティブマネージャー
- 【専門分野】 インクジェット、流体シミュレーション、プリンテッドエレクトロニクス



山形大学  
オープンイノベーション推進本部  
Yamagata University Open Innovation Platform

- 【強み1】 ワンストップでオープンイノベーション・ソリューションを提供
- 【強み2】 「組織」対「組織」に対応できる「チーム山形大学」
- 【強み3】 企業経験豊富な事業CMによる組織的な共同研究の創出・管理

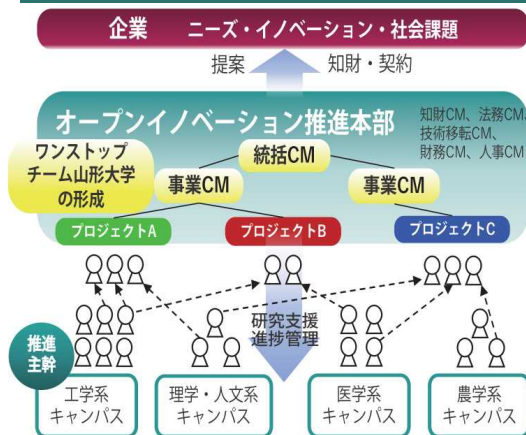
## 主な取組み

山形大学は企業の研究領域を非競争領域から競争領域に引き上げ、企業の事業戦略に深く関わる競争領域に重点を置いた大型の産学連携を推進します。そのために目標と課題を企業と共有し、「組織的な共同研究の創出・管理」を掲げて共同研究体制の構築から研究進捗管理まで結果にコミットする共同研究を推進します。山形大学は企業ニーズに応えるため、産学連携が加速しやすい体制を構築し、「組織」対「組織」に対応できる「チーム山形大学」を形成します。そして大学一丸となって産学連携によるイノベーションの創出に取り組みます。ワンストップでオープンイノベーション・ソリューションを提供する拠点を構築し、事業視点での知的財産の活用、企業のオープン＆クローズ戦略への対応等、企業からの相談をワンストップで解決します。

## 統括CMからのメッセージ

山形大学は、有機材料分野で世界的な研究者を数多く擁し、特徴のある機能性材料の研究開発に精力的に取り組んでいます。また、印刷装置や成膜装置などの設備装置と、これらの装置に精通した人材が、有機材料を用いたデバイス製造に必要なプロセス技術を提供し、製品レベルのモノづくりができる環境を有しています。この「強み」を活かし、更に「組織」対「組織」の大型共同研究を獲得すべく、本オープンイノベーション推進本部では、学術・技術、市場・事業、研究管理の各分野に精通したクリエイティブマネージャーを中心とするマネジメント体制で産学連携活動を推進しています。これまでの非競争領域の大型産学官連携推進の経験を活かし、有機材料分野だけでなく、全学横断組織化により「チーム山形大学」一丸となって競争領域のイノベーション創出に取り組んでいきます。

## 機構の取組概要



## 研究分野例

